



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2026.7.30 号

園主の鳥居徹也です。夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。※配信停止の方はお手数ですがメールまたはお電話でどうぞ(info@treponte.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園
電話:047-429-7231

今こそ必要「BE-DO-HAVE理論」



私事で恐縮ですが
今から 20 年前に、11
万円払って速読をマ
スターするセミナー
に通ったことがあり
ます。2005 年 1 月 2

日と 3 日の 2 日間でした。正月早々、しかも高額セミナー。私を含め、集まった 20 名弱の集団はみんな変わり者ですね。

速読のテクニックといっても、今思えば怪しいものが多かったです。その詳細はともかく、参考になったのは、本を読む前の下準備です。

- ★著者はどんな人間か？
- ★目次をじっくり味わい本の構成を
あらかじめ頭に入れる
- ★前書きと後書きをしっかり読み
本の内容を推測する

そして一番参考になったのが、

その本を読む目的を明確にすること

でした。漠然とした気持ちで本は読まず、読んでいて「ちょっと違うな」と思ったらすぐに本を閉じてかまわないと。

結果として、11 万円払った価値はありました。それは人生を一変させました。速読のテクニッ

クとはいっても、要するにそれは「本を読むこと」のハードルを下げるための自己啓発セミナーだったのです。

セミナーのはじめに、講師がひとりひとりを指さして、「仮に速読をマスターできたとして、あなたは何を成し遂げたいか？期限を決めて宣言してください」と求められます。

私は「今年中に本の著者になります！」と宣言したのですが、確かに、その 4 か月後には最初の本を完成させていました。メディア等で話題となり、文科省が私の講演活動に予算までつけてくれたのです。

これは、

「BE-DO-HAVE 理論」

というものだとは後で知りました。一般的にはその逆の、**所有(Have)→行為(Do)→存在(Be)**の順番で生きているのだとか。

**お金があれば(Have)
好きな仕事ができる(Do)、そうすれば
幸せな人間になれる(Be)**

あるいは、

**能力があれば(Have)
成功できる(Do)、そうすれば
自信のある人間になれる(Be)**

という発想です。しかしこの生き方には終わりがありません。なぜなら「**まだ足りない**」が前提だからです。

**もっとお金が必要
もっと能力が必要
もっと評価が必要**

となり、存在 (Be) は先送りされます。

一方で、私がそのセミナーで行ったこと、

存在(Be)→行為(Do)→所有(Have)

は全く逆です。まず、Be：私はどんな人間でありたいのか」を定める。例えば、

- 誠実でありたい
- 自由でありたい
- 探究する人でありたい
- 子どもを信頼する人でありたい

としてみる。すでにそうなっているとふるまう。すると視点が変わります。その存在にふさわしい行為：Do が自然に選ばれるのです。その結果として、所有：Have が後からついてきます。私の場合でいえば、

- Be:速読をマスターしたつもりになる
- Do:本を短時間で大量に処理する
- Have:最初の著書が手に入る

となったわけです。

存在から始めた方が、所有も得やすい

「成功したら自信を持てる」
ではなく
「自信を持つ人として振る舞う」
方が成功しやすい

「余裕ができたなら人に親切にする」
ではなく
「親切な人として生きる」
方が人間関係にも恵まれる

存在 (Be) が行為 (Do) を生み、
行為 (Do) が結果を生み、
その結果が所有 (Have) につながる

このような自己啓発の内容を取り上げた理由は、まさに人工知能の時代が来たからです。AI は「持つこと (Have)」と「できること (Do)」を大衆化します。知識も技術も、多くの人が利用できるようになります。だから最後に差を生むのは、

Have:何を持っているかではなく、
Be:どのような存在としてそれを使うのか

という問いになります。自分なりの視点／切り口を持っていることがポイントです。

ところでこれを幼児教育の立場で考えると、子どもは教わる以前からこのように生きていることがわかります。評価や比較のない世界にいる子どもたちのふるまいは、

存在(Be)→行為(Do)→所有(Have)

になっています。
幼児は本来、今ここで遊ぶ人である (Be) から始まります。だから遊ぶ (Do)。結果として能力が育つ (Have)。ところが大人は逆に、能力をつけて (Have)、活躍して (Do) 自分らしくなろう (Be) としてしまいます。幼児教育から学ぶことは多いです。(終)

従来社会	これからの社会
Have→Do→Be	Be→Do→Have
所有が先	存在が先
評価が中心	意味が中心
競争	表現
正解を出す	自分を生きる
外側から形成	内側から形成